

これまでの主な取組内容（年表）

年度	月日	実施内容	備考等
2015 (平成 27)	10月1日	電子図書館サービスの提供開始	WEBサイトを通じた電子書籍の貸出、返却、閲覧など
2016 (平成 28)	1月27日	あかし市民図書館リニューアルオープン	開館時間の拡大(平日夜9時まで開館)、月曜日の開館、貸出冊数10冊から20冊に拡大、収蔵能力(約2倍)・蔵書数(約2倍)・面積(約4倍)を拡大
	2月7日	ブックスタートの開始	4か月健診で、絵本の読み聞かせと「ブックスタートパック」(絵本2冊、絵本リスト、読み聞かせのアドバイス集など)をプレゼント
2017 (平成 29)	7月～	「放課後ブックサークル」の試行	全28小学校中10クラブで試行
	9月～	点字図書やデージー資料の郵送サービスの開始	身体障害者手帳1・2級を有する視覚に障害のある方を対象に、図書を無料で郵送するサービス
2018 (平成 30)	5月9日	ブックセカンドの開始	3歳6か月健診で、絵本相談と「ブックセカンドパック」(絵本5冊のうちから1冊、絵本リスト)をプレゼント
	7月1日	新移動図書館車の配置	県内初、大型・小型の2台体制
	7月1日	あかし市民図書館で対面朗読サービスの開始	音訳ボランティアサークル
	7月～	「放課後ブックサークル」の本格実施	全小学校(28クラブ)で実施
	7月25日～	「あかし保育絵本土(基礎)」養成講座の開始	絵本を通して、子どもの心に寄り添った教育や保育を目指し、豊かでのびやかな育ちを支えられる環境整備を目的として実施
2019 (令和元)	8月23日～	「あかし保育絵本土(応用)」養成講座の開始	基礎コース修了者を対象に、基礎講座後の実践発表や意見交換を通じて、更なる能力向上を目指す
		「明石市本のまち基金」の設立 (基金設立セレモニー:令和2年1月26日)	(一財)公立図書館助成会からの寄附金を原資として「明石市本のまち基金」を設立
		市内貸出冊数300万冊達成(令和元年度実績)	「まち・ひと・しごと創生総合戦略(平成27年度～令和3年度)」のトリプルスリーのうち「本の年間貸出冊数300万冊」を達成

年度	月日	実施内容	備考等
2020 (令和2)	4月25日 ～ 5月19日	「絵本の宅配便」事業を実施 (市立図書館臨時休館中)	コロナ禍において、子どもたちが自宅にいながらでも絵本に親しみ、保護者の方と楽しい時間が過ごせるよう、希望される家庭に絵本を配達
	3月	市立西部図書館のサイン表示をユニバーサル仕様に更新	
2021 (令和3)	4月1日	あかし市民図書館開館時間を延長	開館時間を午前10時から午前9時30分に変更
	4月1日	市立西部図書館で対面朗読サービスの開始	
2022 (令和4)	4月22日	日新信用金庫10店舗に明石まちなか図書館を開設	信金中央金庫からの企業版ふるさと納税を活用し、市と日新信用金庫の連携事業「明石まちなか図書館」をスタート(当初計画：日新信金10店舗+市内施設10カ所)
	7月2日	明石まちなかブックスポット事業の実施	明石まちなか図書館事業の更なる展開と、本を通じた交流、つながり、自己実現などを目的とした事業。実施は明石コミュニティ創造協会に委託。 「hito-haco」の開設、明石まちなかブックスポットMAPの作成などを行う
	8月17日	スマートフォン等でのバーコードによる図書貸出サービス開始	
	9月1日	男性トイレへのサンタリーボックスの設置	
	11月1日	iPhoneを使った音声読み上げアプリのアカウント貸出を開始	
	12月～	明石まちなかブックスポットパワーアップ助成の実施	まちなかブックスポット拡充支援(書籍購入、広報、イベント費用など)のための助成
	1月11日	市立西部図書館ユニバーサル・エリアの設置	車いす優先席、拡大読書器・音声読み上げ機能などを配置したエリアを設置
	2月4日	明石まちなかブックスポットパワーアップ勉強会の実施	ブックスポットに関する事例紹介と運営者同士の意見交換の場

年度	月日	実施内容	備考等
2023 (令和5)		明石コミュニティ創造協会の明石まちなかブックスポット事業への補助を開始	・ブックスポット勉強会を実施(全4回) ・明石まちなかブックスポットスタート &パワーアップ助成の実施
	10月1日	図書郵送サービスを妊産婦に拡大する「らくママ便」を開始	
		(仮称)二見図書館、(仮称)西明石地域交流センター内図書コーナーの整備に向けた取組を開始	
	2月21日	あかし市民図書館に点字ディスプレイを設置	
2024 (令和6)	7月2日	あかし市民図書館・西部図書館へ座席予約システム導入	
	7月12日	西部図書館に点字ディスプレイを設置	